



令和8年8月26日

国土交通省 中部地方整備局

“インフラの未来”を書き換えるあなたの挑戦、募集開始！ ～令和8年度 中部 DX 大賞 中部からインフラ DX をリードする取組を募集～

中部 DX 大賞は、中部地方整備局管内において、インフラ分野の DX で優れた成果を挙げた取組を称える表彰制度です。

当局発注の工事・業務における取組はもちろん、当局発注以外の工事・業務における取組も対象です。また、建設現場に直接関わる取組に限らず、インフラの整備・管理・利活用・サービス提供、働き方改革や生産性向上、新技術の実装・研究開発など、データとデジタル技術を活用した幅広い取組を募集しています。

中部から、インフラの"新常識"へ。皆さまの挑戦を、お待ちしております。

募集対象・要件、募集期間は下記の通りです。詳細は別紙1を参照ください。

1. 募集対象・要件

募集対象は、次の要件を満たす取組とします。

- (1) 令和7年度に、中部地方整備局管内において実施[※]された取組であること。
- (2) インフラの整備・管理・利活用・サービス提供・働き方改革・生産性向上・新技術の実装や研究開発等に関する、データやデジタル技術を活用した、他の模範となる民間企業や技術者等の取組であること。

※ 取組が完了し、一定の評価が可能なものであれば対象とすることができ、契約が完了していない場合でも応募に差し支えありません。

2. 応募期間

令和8年8月26日（水）～ 令和8年10月9日（金）

3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会

【問合せ先】

国土交通省 中部地方整備局 中部インフラ DX 推進室

建設情報・施工高度化技術調整官 堀 智幸（ほり ともゆき）

建設専門官 岡田 豊（おかだ ゆたか）

直通：052-953-8131

中部 DX 大賞の募集について

国土交通省では、令和6年度から「i-Construction」の取組を深化させる「i-Construction2.0」を打ち出し、さらなる建設現場の生産性向上に取り組んでいるところです。また、この取組を中核にさらに発展させ、データとデジタル技術を活用して社会資本や公共サービスを変革する「インフラ分野のDX」を推進しています。

中部 DX 大賞は、その取組の一環として、中部地方整備局管内においてインフラ分野のDXで優れた成果を挙げた取組を表彰し、先進的な取組の横展開や担い手の裾野拡大を通じて、「インフラ分野のDX」のさらなる普及・拡大を図るものです。

なお、選考にあたっては、令和7年度から引き続き、有効性、先進性に加え、特に「波及性」の観点を重視して選考します。

また、中部 DX 大賞の受賞実績については、**当局（港湾空港関係除く）が総合評価落札方式等で発注するすべての工事・業務**において、**加点対象**となります。詳細については、「工事調達における総合評価落札方式の運用ガイドライン」、「建設コンサルタント業務等における入札・契約手続きに関するガイドライン」を確認ください。

（１）募集対象

募集対象は以下を満たすものを対象とします。

- ① 令和7年度に、中部地方整備局管内^{※1}において実施^{※2}された取組であること。
- ② インフラの整備・管理・利活用・サービス提供・働き方改革・生産性向上・新技術の実装や研究開発等に関する、データやデジタル技術を活用した、他の模範となる民間企業や技術者等の取組であること。

※1：原則として、愛知県、岐阜県、静岡県、三重県及び長野県南信地域において実施された取組を対象とします。なお、中部地方整備局が実施・所管する事業に関する取組であれば、対象地域外であっても応募対象となる場合がありますので、事務局までお問い合わせください。

※2：取組が完了し、一定の評価が可能なものであれば対象とすることができ、契約が完了していない場合でも応募に差し支えはありません。

※3：国土交通省大臣官房により別途募集されている「インフラ DX 大賞」とは、併せて応募することが可能です。同様の取組み内容での応募であっても差し支えありません。なお、「インフラ DX 大賞」への応募のみでは「中部 DX 大賞」への応募とはなりませんので、中部 DX 大賞への応募を希望される場合は、必ず併行してご応募ください。

(2) 応募方法

以下①②の資料を、(6) 提出先まで提出してください。

① 応募理由書(様式1)

- ・ 様式を、以下の中部地方整備局ホームページからダウンロードしてください。

https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/dx/youshiki1_260826.xlsx

- ・ 取組名、会社・団体名、取組場所、取組分野、取組概要(280字以内)、応募理由(有効性・先進性・波及性の観点ごとに400字以内)を記載してください。
- ・ 取組分野は、「工事・業務の取組」又は「工事・業務以外の取組」を選択してください。
- ・ ファイル名は「<企業・団体名>.xlsx」としてください。

② 取組の概要や効果を示すパワーポイントファイル(様式2)

- ・ 様式を、以下の中部地方整備局ホームページからダウンロードしてください。

https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/dx/youshiki2_260826.pptx

- ・ 取組を説明する文書、図表、写真等をA4判2ページ以内で作成してください。提出資料の1ページ目は所定様式を使用してください。2ページ目に、参考資料として自由様式やパワーポイント形式以外の資料を追加いただいても差し支えありません。
- ・ 1ページ目のファイル名は、「<企業・団体名>.pptx」としてください。自由様式での2目以降を添付する場合は、「<企業・団体名>②.pdf」等としてください。

なお、取組の概要や効果を説明する補足資料として以下の条件を満たす動画を併せて提出することができます。提出を義務付けるものではありません。

- ・ 時間：3分以内(音声含む)
- ・ ファイル形式：mp4形式
- ・ 動画の解像度：854×480(アスペクト比：16：9)
- ・ ファイル名は、「<企業・団体名>.mp4」としてください。

※メールの受信可能容量はおおむね20MB程度までとなっております。提出資料がこれを超過する場合は、その旨を(6)までご連絡ください。別途、大容量ファイル送信サービス等の方法をご案内いたします。

(3) 応募期間

令和8年8月26日(水) ～ 令和8年10月9日(金)

(4) 選考方法・結果の通知

- ・ 応募された案件は、中部地方整備局に設置する選考委員会において、**有効性、先進性、波及性**の観点から審査を行い、表彰を受けることが適当であると認められる者を選考します。なお、i-Construction・インフラDXの取組は特定現場での技術としてだけでなく、あらゆる現場において広く普及拡大させることが重要であることから、**特に波及性の観点について重**

視して選考を行う予定としています。

- 選定数は、別に募集した行政推薦を含め、工事：10件程度、業務（建設コンサルタント）：10件程度、働き方改革などに関する取組：3件程度を選定して表彰を行う。
- 提出された資料については、**受賞者においては、中部地方整備局のホームページや公式 SNS、YouTube 等において一般公開**します。応募をもって公表に同意いただいたものとさせていただきます。
- 選考されなかった案件について、個別の通知はいたしません。

（５）応募上の留意点

- 以下の点に十分ご注意の上、資料・動画をご提出ください。
 - ① 著作権・肖像権に関する配慮
第三者の著作権を侵害しないよう、利用許諾等の必要な対応を必ず実施するようにしてください。他人が映る映像を含む場合は、必ずご本人の同意を得てください。
 - ② 個人情報の保護
氏名、住所、電話番号などの個人情報は、映像や音声に含めないでください。
- 応募者が表彰年度に指名停止等の措置を受ける等、社会通念上不適切と思われる場合には受賞対象から除外することや、受賞を取り消す可能性があります。
- 政府機関（府省庁等）又はその他の機関（地方公共団体、業界団体等）による表彰制度の受賞者についても、本表彰の対象となります。
- 過去に本表彰に応募した取組についても、前回の応募時のものと比べて新たな内容又は付加的な事由が存在する場合には、前回の応募時の内容を含めて再応募することができます。
- 選考されなかった案件についても、各案件の概要等を中部地方整備局のウェブサイト等にて公表する可能性があります。

（６）提出先・問い合わせ先

中部地方整備局 中部インフラ DX 推進室 岡田・大野・今井

TEL : 052-953-8131

E-mail : 岡田 okada-y85ac@mlit.go.jp

大野 oono-t85aa@mlit.go.jp

今井 imai-s85aa@mlit.go.jp